



2024年9月27日

各 位

会 社 名 株式会社UNIVA・Oakホールディングス  
代表者名 代表取締役会長兼社長グループCEO 稲葉 秀二  
(コード：3113 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役グループCFO 作田 陽介  
(TEL. 03-6682-9884)

## 株式会社ノースエナジーの太陽光発電設備導入事業（公募型プロポーザル）への 事業参画（正式契約締結）に関するお知らせ

北海道を中心にクリーンエネルギー事業を開発から管理までワンストップで手掛ける当社連結子会社・株式会社ノースエナジー（本社：北海道札幌市、以下「ノースエナジー社」といいます。）は、この度、北海道東神楽町（※）が実施する太陽光発電設備等導入事業（以下「本事業」といいます。）にかかわる公募型プロポーザルに応募（以下「本応募」といいます。）し企画提案を行った結果、本事業の企画・施行に関し優先候補者として選定され、その後、事業者としての正式選定に向けて具体的な交渉を進めてまいりましたが、この度、本事業にかかわる正式契約を締結いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

なお、本件にかかわる詳細につきましては、下記の東神楽町HPの掲載記事もご参照ください。

<https://www.town.higashikagura.lg.jp/docs/14261.html>

（※）東神楽町は、旭川市に隣接する道内においても有数の豪雪地帯ですが、町内に旭川空港を擁し、また旭川駅から至近という良好なアクセスにより、旭川都市圏におけるベッドタウンとして発展を遂げており、「平成17年国勢調査」、「平成27年国勢調査」では北海道内第1位の人口増加率になっております。

### 記

#### 1. ノースエナジー社の事業展開

ノースエナジー社は、2014年の創業以降、FIT制度に基づく個人・法人投資家向けの太陽光発電設備販売を手掛け、FIT制度廃止以降は、「新電力会社向けNon-FIT発電設備」の建設・販売に軸足を移すと共に、近年においては自家消費型の太陽光発電設備の販売に参入する等、北海道を中心として太陽光発電事業の全国展開を図ってきた先行者利益と実績を最大限生かし、積極的かつ着実にその事業領域を拡げております。

#### 2. 本応募に至った経緯

ノースエナジー社は、これまでの太陽光発電設備販売における豊富な経験と技術力を活かし、太陽光発電設備の建設事業においても高い競争力を持っております。加えて、公共工事参加のための建設業許可を2023年10月に取得し、本事業への参加の準備が整ったことから、今回、本応募に至ったものであります。

### 3. 本事業の概要

#### (1) 事業名

東神楽町ふれあい交流館太陽光発電設備等導入事業

#### (2) 事業目的

国が掲げた2050年のカーボンニュートラルの実現という目標に対して、東神楽町においても2022年3月25日に、2050年までに代表的な温室効果ガスとなる二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

本事業は、同町がゼロカーボンシティを実現するため、東神楽町ふれあい交流館への太陽光発電設備等を導入するものです。

#### (3) 事業規模等

- ・発電容量：24.75kW
- ・設置場所：東神楽町ふれあい交流館 屋上

#### (4) 実施スケジュール

- ① 2024年9月20日 契約締結
- ② 2024年11月上旬（予定）工事着工
- ③ 2024年11月下旬（予定）工事完了
- ④ 2024年12月下旬（予定）引渡し

### 4. 本件を踏まえたノースエナジー社の今後の事業展開と見通し

2030年のCO<sub>2</sub>50%削減や2050年カーボンニュートラルの実現といった脱炭素社会への変革の動きの中で、ノースエナジー社は当社グループのクリーンエネルギー事業を担う中核子会社として重要な一翼を担っており、その位置づけは当社グループのサステナブル経営を支える観点から一層増していくものと考えております。

そして斯かる状況下、本事業における今回の優先候補者選定並びに事業参画は、道内の自治体が2050年カーボンニュートラルの実現に向けた動きに対し、ノースエナジー社がこれまでの知見・実績を踏まえた確かな企画提案を行った結果であり、これは道内を中心とした自治体や事業会社が今後一層クリーンエネルギー志向を進める中においてノースエナジー社のステータス向上に資するものであり、ひいてはノースエナジー社の今後のさらなる成長と飛躍並びに当社グループの価値増大に向けて大きな後押しになるものと考えております。

ノースエナジー社は、再生可能エネルギーのポテンシャルが高い北海道に拠点を置きながら、太陽光に限らず様々な可能性に挑戦してカーボンフリーな社会の実現に貢献してまいります。

### 5. 今後の見通し

本件による連結業績への影響については軽微と見込んでおります。

当社は、太陽光発電事業を通じて脱炭素社会の実現に貢献するノースエナジー社を、UNIVA・Oakグループの中核子会社と位置づけ、引き続きその企業価値増大に向けて強力に支援してまいります。

以上